

平成29年度 加賀市当初予算概要

この資料中、「前年比」は前年度当初予算比を表します。

1 全会計の予算総額 657億1,450万円（前年比 +13億9,800万円 +2.2%）

平成29年度の加賀市当初予算は、一般会計における「スマート加賀IoT推進事業」など、地方創生推進交付金を活用した事業費（+2億9,350万円）の増加や、子育て支援としての「（仮称）楽しい遊び場整備事業費」の増加（+3億4,050万円）を始め、下水道事業が公営企業会計へ移行することに伴う予算規模の増大等により、全会計の予算総額は、前年比で2.2%増加している。

2 一般会計予算 311億円（前年比 +7,400万円 +0.2%）

前年比で、「ほっと石川観光推進ファンド」への貸付金（4億5,500万円）や、「新幹線開業PR推進ファンド」に係る繰上償還（2億9,000万円）の皆減などがあるが、上記に掲げる事業を始めとした、政策に基づく事業の実施により増加している。

主な歳入

	（予算額）	（前年比）	（主な増減理由）
① 市 税	89億6,820万円	（△ 0.3%）	たばこ売渡本数減による市たばこ税の減少、地価下落に係る時点修正による固定資産税の減少
② 地方譲与税 及び交付金	19億4,000万円	（+ 4.2%）	地方財政計画に基づく見込額の増加
③ 地方交付税	71億4,500万円	（△ 0.9%）	合併特例措置の終了等による普通交付税の減少
④ 国庫支出金	46億8,699万円	（△ 1.5%）	臨時福祉給付金事業補助金の減少
⑤ 県支出金	19億236万円	（△ 4.0%）	グリーンニューデール基金事業費補助金の皆減
⑥ 繰入金	10億4,648万円	（+ 53.2%）	重点事業推進基金繰入金の皆増、減債基金繰入金の増加 （うち、財政調整基金の取り崩し 5億8,800万円（+ 5.0%） ※ H28当初予算 5億6,000万円）
⑦ 市 債	38億9,926万円	（+ 0.8%）	合併特例債、公共事業等債の増加 （うち、臨時財政対策債 13億円（+ 14.0%））

主な歳出

	(予算額)	(前年比)	(主な増減理由)
① 人件費	46億8,768万円	(+ 2.9%)	職員退職手当の増加、人事院勧告による職員給与費の増加
② 扶助費	68億1,797万円	(△ 0.2%)	児童福祉扶助費の減少
③ 公債費	42億6,111万円	(△ 7.0%)	新幹線開業PR推進ファンド借入金償還費の皆減
④ 物件費	47億531万円	(+ 5.3%)	地方創生推進交付金事業(スマート加賀IoT推進事業等)の増加
⑤ 補助費	16億7,839万円	(△ 4.2%)	建築物耐震改修促進助成費の減少
⑥ 投資及び出資金	6億5,286万円	(+ 130.1%)	病院事業出資金の増加、公共下水道事業出資金の皆増
⑦ 貸付金	2億1,150万円	(△ 68.2%)	ほっと石川観光プラン推進ファンド債の皆減
⑧ 繰出金	43億7,381万円	(△ 2.8%)	下水道事業繰出金の減少
⑨ 投資的経費	31億7,462万円	(+ 11.3%)	(仮称)楽しい遊び場整備事業費の増加

3 特別会計予算(6会計) 181億7,140万円 (前年比 △27億9,750万円 △13.3%)

(1) 国民健康保険特別会計 96億7,940万円 (前年比 △1億9,210万円 △1.9%)

一人当たり給付費は伸びを見込むが、被保険者数が減少するため、保険給付費は0.2%の減少を見込む。

(2) 後期高齢者医療特別会計 8億4,830万円 (前年比 +2,050万円 +2.5%)

被保険者数の増加(H28 11,200人 ⇒ H29 11,600人 +400人)に伴い、後期高齢者医療保険料収入及び広域連合への納付金の増加を見込む。

(3) 介護保険特別会計 73億3,630万円 (前年比 +3億890万円 +4.4%)

第6期介護保険事業計画(H27~H29)の最終年となり、次期計画を策定する。介護給付費の増加や地域支援事業の拡充により全体的な増加を見込む。

(4) 加賀山代温泉財産区特別会計 1億2,600万円 (前年比 △200万円 △1.6%)

「総湯」・「古総湯」の利用促進を図りながら、管理運営事業を引き続き行う。

(5) 加賀山中温泉財産区特別会計 1 億 5,830 万円 (前年比 △730 万円 △4.4%)

源泉の配湯事業を行うとともに「菊の湯」の利用促進を図りながら、管理運営事業を引き続き行う。

(6) 土地区画整理事業特別会計 2,310 万円 (前年比 +140 万円 +6.5%)

橋立土地区画整理事業において、市債の償還金が増加する。引き続き保留地の売却促進を図る。

※ 下水道事業特別会計は公営企業会計化のため、29 億 2,690 万円が皆減

4 企業会計予算 (3会計) 164 億 4,310 万円 (前年比 +41 億 2,150 万円 +33.4%)

(1) 病院事業会計 83 億 7,280 万円 (前年比 +7,930 万円 +1.0%)

加賀市医療センターが開院 2 年目に入り、医業収益が増加するとともに、企業債償還金も増加する。

(2) 水道事業会計 38 億 9,680 万円 (前年比 △1 億 3,130 万円 △3.3%)

安全で安定した水の供給のため、老朽管更新及び配水管施設の整備事業を推進する。

(3) 下水道事業会計 41 億 7,350 万円 (公営企業会計化のため皆増)

公営企業会計化により減価償却費等を計上するため、会計規模が増大する。片山津処理区(打越町・高塚町など)及び大聖寺川処理区(山代温泉 10 区・作見町など)の管渠築造事業を推進する。また、三木地区の農業集落排水事業を推進する。